

2014年9月9日

区市アーチェリー協会（連盟）会長 様
高体連アーチェリー専門部 御中
関東学ア連委員長 様

東京都アーチェリー協会
会長 保坂 三 蔵

都内射場での未経験者による事故未遂への対応に関して（お願い）

いつもお世話になります。

首記の件について、8月1か月間において、報告が上がっただけで3件の憂慮すべき事例が発生しております。9月度常務理事会において、事態を重く受け止め、傘下及び関東学連の各校におきましても、未経験者及び初心者の射手への対処法に関し、以下の点のご協力をお願いします。

◎事故例に関しましては、全ア連への報告書を添付しましたので、ご確認ください。

◎以下の点に関し、ご協力をお願いします。

- 1 2014年4月以降、同様の事例があった場合には、可能な限り詳しくご報告ください。
- 2 皆様が使用する射場の管理者に対し、憂慮すべき事態が発生していることを報告し、現状、可能な範囲で未経験者や初心者に対する使用の制限に関して、申し入れてください。都ア協は、原則として禁止を求めていることを伝えていただいで結構です。
- 3 上記の第2項に関しては、使用する射場が個人開放を認めている場合、各協会（連盟）が、貸切日等に認定証・検定証等を発行し、窓口において提示させる方法がベターです。早急にご検討ください。

◎マニュアル等の再点検に関して

- 1 未経験者が、いきなり弓具を持参した際の指導法や入会を説得する方法等についてご検討ください。排除は、問題解決にはなりません。射場以外の別の場所で誤射事件を起こす可能性があります。
- 2 初心者の弓具の購入時には、上級者が立ち会うようにご協力ください。通販、ネットオークション等での入手希望の方には、カタログ・ネット画面等の供覧、購入後の調整に立ち会ってください。
- 3 初心者指導マニュアル等の見直し、改訂を適宜行ってください。技術指導に偏り、安全指導を忘れていないか。道具の組み立ては、どのレベルで教えるのか。教室後の弓具の購入や道具の手入れについては、本人任せにせず、新人の状況に応じた指導を必ず行う。などの見直しをしてください。そもそもマニュアルが不存在的な協会は問題外です。すぐに準備すべきです。

以上